

6

点Oを中心とする円を使って、図1のような正五角形をかきます。

図1の点A、点B、点C、点D、点Eは正五角形の頂点^{ちやうてん}です。

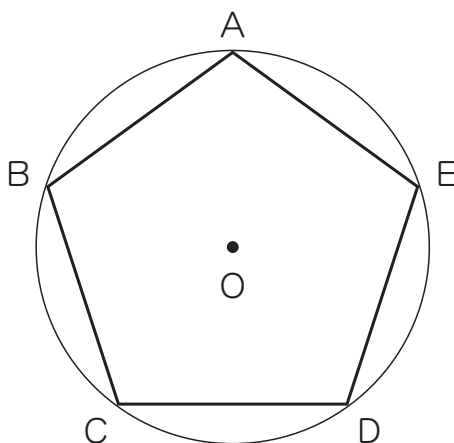


図1

まず、図2のように半径をかき、円周と交わった点を点Aとします。

次に、図3のように半径をかいて点Bの位置を決めます。このとき、角ア^アの大きさは何度にすればよいですか。答えを書きましょう。

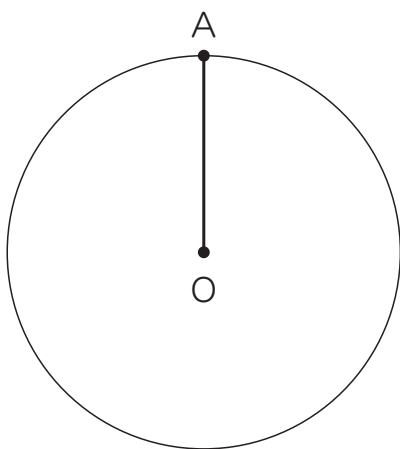


図2

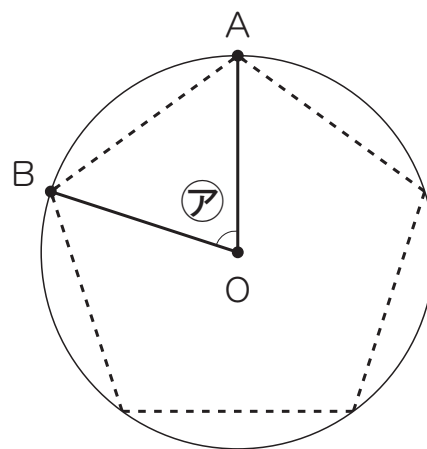


図3